



国内シンポジウム2015

活力ある超高齢社会への ロードマップ NEXT STEP

東京大学高齢社会総合研究機構〈IOG〉(機構長：大方潤一郎)は、2009年4月の設立以来、超高齢社会の課題解決を目指し、千葉県柏市等を主たるフィールドとして研究と実践を積み重ねてきました。

さらに昨春に開講した、博士課程教育リーディングプログラム「活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム」〈GLAFS〉では、次世代を担う人材の育成にも力を入れています。

中心的なフィールドである柏市では、行政、UR、大学の三者が協働して、「い・しょく・じゅう」を中核に据えた、新たな社会システムの構築を進めてきました。2014年度にはケア・サポート・システムの拠点も完成し、国内外から多大な関心が寄せられるなど、この取り組みは一定の成果を挙げたと考えております。

一方で、今後の超高齢社会の進展に対応するためには、コミュニティにおける住民のより積極的な関与を求める、新たなモデルが必要とされていることも事実です。

今回のシンポジウムでは、これまでの6年間の活動の知見をまとめ関係者に報告するとともに、今後の6年に向けた次のステップについて議論を行いたいと思います。

関心のある皆様のご参加をお待ちしております。

日時

2015年3月7日 土

10:00～17:00(受付 9:30～)

会場

工学部2号館221号室に変更
(入場無料・事前登録制)

主催

東京大学高齢社会総合研究機構

申込先

✉ glafs-event@iog.u-tokyo.ac.jp

FAX 03-5841-1662

申込締切: 3月2日(月)まで。尚、お名前、ご所属、ご連絡先(電話番号、メールアドレス)をご記入の上、お申し込み下さい。

お問い合わせ

東京大学高齢社会総合研究機構 事務室

☎ 03-5841-1662

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 工学部8号館713

プログラム

10:00 開会挨拶

10:10～12:15 第1部

「活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム」(GLAFS)の教育・研究活動の紹介

- ・カリキュラム内容の紹介
- ・セミナーや、実習内容の紹介
- ・共同研究プロジェクトの研究結果報告

13:15～16:55 第2部

高齢社会総合研究機構(IOG)が示す、活力ある超高齢社会へのロードマップ NEXT STEP

- ・IOGの取り組み「い・しょく・じゅう」各プロジェクトからの6年間の活動報告
- ・今後の6年間の活動に向けたパネルディスカッション

16:55 閉会挨拶



東京大学 高齢社会総合研究機構
INSTITUTE OF GERONTOLOGY, The University of Tokyo



東京大学・博士課程教育リーディング・プログラム
活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム